

教科	国語	科目	現代の国語	年次	1	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		高等学校 現代の国語 (第一学習社)					

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにします。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。	
評価の 観点	① 知識・技能	実社会において理解したり表現したりするために必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	③ 主体的に学習に取り 組む態度	ものの見方、感じ方、考え方を深めながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価の 方法	定期考査に加え、提出物（ノート、学習プリント等）、小テストの成績、作成したレポートや資料などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度や参加姿勢等を、総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 「本当の自分」 幻想	- 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握します。 - 自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述します。 - 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述します。 - 主張と論拠など、情報と情報との関係を理解します。
	2 羅生門	
	3 水の東西	
	4 ものともことば	
後期	5 無彩の色	- 文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈します。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫します。 - 自分の身近なものを取り上げて比較し、自分の考えを整理して論述します。 - 具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解します。 - 文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈します。
	6 現代の「世論操作」	
	7 鏡	
	8 ロビンソン的人間と 自然	